

研究名： 小児瞳孔不同症の検査方針に関する観察研究

1．研究の目的

小児瞳孔不同症は瞳孔（ひとみ）の大きさに左右差がある状態のことを指し、さまざまな原因があります。乳幼児健診などで発見された特に自覚症状のない小児瞳孔不同症に対して、さまざまな原因を想定した検査をどこまで行うかは定まっていません。今回、乳幼児健診で特に自覚症状のない瞳孔不同を指摘され当院を受診された患者さんの眼科的・内科的精査の実態を明らかにすることを目的に、症例集積研究を行います。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2017年1月～2023年9月までに瞳孔不同を主訴に受診された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月

研究方法：電子カルテの記録を振り返り、診察所見や行われた検査について調査します。

3．研究に用いる情報の種類

病歴、神経診察の所見、眼科診察の所見、検査成績、最終診断 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023 月 12 日 28 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 神経内科 早川格（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7787）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 神経内科 早川格（責任者氏名）